



社長のお悩み
こちらで
解決！



社長の学び場

検索

<http://www.shiga.doyu.jp/manabiba/>

社長のみなさん、 一人で悩んで いませんか？

経営者になって日が浅く
経営を学びたい

経営を語りたい 仲間に
話したい 合いたい

専門的
な話を聞いて
相談したい

人材採用
で苦労している

社員教育
に力を入れたい

後継者を
育てたい

経営理念・
ビジョン
を作りたい

知識 + 仲間 + 体験

600名の会員と共に学ぼう！

社長の学び場

滋賀県中小企業家同友会

「社長の学び場」PR大使 前川保志花

滋賀県中小企業家同友会の理念と組織

理念

同友会の3つの目的

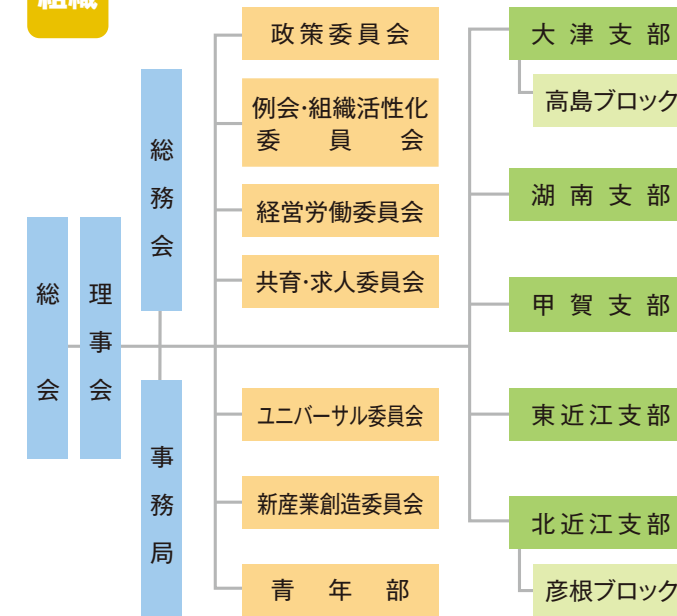
自主・民主・連帯
の精神

国民や地域と
共に歩む中小企業

<同友会の3つの目的>

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
3. 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

組織



同友会 Q & A コーナー

Q 同友会って、どういう会なのですか？

A 中小企業家が自主的に参加し、企業の繁栄をめざして学び合い活動を行っている、非営利の任意団体（全国組織）です。会の財政は会員の会費収入を中心に成立し、手作りの運営を心がけ、中小企業家のあらゆる要望に応じて活動するという特色があります。滋賀では600人、全国47都道府県で46,000人が加入しています。滋賀同友会は2019年1月に創立40周年を迎えます。

Q どのような立場の人が入会しているのですか？

A 会の趣旨に賛同する中小企業の経営者および準ずる人が会員になれます。専門士業の人、自営業の人、工場長や営業所の所長、地域と共に歩みたいと願う大企業の役員の人仲間になることが出来ますので、まずはお問い合わせ下さい。

Q 政治や行政に対する姿勢は？

A 会の目的を達成するために、どの政党ともわけへだてなくお付き合いしますが、会としては特定の政党と特別な関係をもたないようにしています。会活動は補助金に依存していませんので、政党や行政とは共に地域を良くしていく立場で自由に意見交換を行っています。全国の県や市町では、行政と協働して「中小企業振興基本条例」の制定や「産業振興会議」等の設置による振興施策の立案や推進を担う経験が広がっています。

Q 入会に必用な費用はどれくらいですか？

A 会費6,000円／月（3ヶ月ずつ前納）、入会金20,000円です。特別な行事（懇親会や著名な講師を呼ぶ、任意の研修会など）以外は、例会は原則無料です。

Q 入会後はどうすれば良いのですか？

A 入会お申込のあと、理事会で承認され、地域の支部に所属します。支部役員が事務局からオリエンテーションや例会のご案内で連絡があります。まずそこからご参加下さい。

Q 行事の案内はどうやってくるのですか？その返答は？

A 月末に封筒で全体のご案内や広報をお送りします。所属の支部行事をご確認下さい。個別にはグループウェア「e.doyuシステム」をお使いいただき、Web上で案内と出欠の返答が出来ます。また必要に応じてFAXでもご案内いたします。

Q 登録した会員しか参加できないのですか？

A オープンにしている例会は、会員の参加を優先していますが代理の経営者、後継者や幹部社員と共に参加することも出来ますので、お問い合わせ下さい。また、社員対象の研修会、青年経営者向けの例会（青年部）もあります。例会や行事のテーマ、主旨にあわせて、会社での共育に活用して下さい。

Q 入会の手続きは？

A まず事務局までご一報下さい。説明にお伺いをいたします。ホームページからお申込みいただけます。

社長の学び場

検索

事務局 TEL.077(561)5333

メール jimu@shiga.doyu.jp



DOYUshiga 「同友しが」

発行所 ● 滋賀県中小企業家同友会

発行責任者／代表理事 蔭山孝夫

編集責任者／宮川卓也 廣瀬元行

2018. October VOL.432 2018年10月発行

〒525-0059 草津市野路8丁目13-1 KE草津ビル1階

TEL.077-561-5333 FAX.077-561-5334

E-mail: jimu@shiga.doyu.jp URL <https://shiga.doyu.jp>

あなたも企業を 発展させる経営者の 学び合いの場へ！

同友会は自分の現在地を知り 未来を創造する場所



サークルワークス
代表 松井 敬樹 氏
(大津支部所属)

僕が同友会に入会したのは今から7年前になります。当時、個人事業主としてスタートした1年目のことで滋賀建機の蔭山会長から直接お声がけをいただき入会したのがきっかけです。

その後は出来る限り例会に参加し、多くの先輩経営者のお話を聞き、勉強させていただきながら3年前からは運営委員として支部活動に参加しています。

同友会の良いところは、報告者の話の中からヒントを得、自分自身の経営の方向性や、手法などを見直すことができることだと考えています。普段、忙しさのあまり、1年後や、5年、10年先のことなど考えずに目の前の仕事に翻弄されてしまいますが、例会の2時間は落ち着いてこれらのことを考える有意義な時間です。すなわち、自分の現在を見つめる時間といえます。現在地を知ることは、将来設計の基本でもあり、また、指針経営を実践される諸先輩方のアドバイスやサポートを得られることも大きいです。

同友会に入る時期、環境は関係無いと思っています。良き仲間と共に成長し、地域を活性化させる源は、同友会だと確信しています。

互いに経営について深く考え、 切磋琢磨する同友会だからこそ得た、 学びと出逢い



有限会社 山口一心堂
取締役 山口 智久 氏
(大津支部所属)

有限会社 山口一心堂の山口智久です。私は、家業を継ぐため4年前にインドネシアから帰国しました。

日本で何をやったら良いか分からないまま親父である社長の勧めで同友会に参加しました。2017年に参加するも最初は幽霊会員で、ほとんど参加していませんでした。しかし、2018年3月に開催された支部例会より、経営者のあるべき姿を学び、以降積極的に同友会活動に参加しております。その結果、同友会を自身の経営に活用する事が出来始めました。滋賀同友会所属の素晴らしい経営者の方々との出逢いにより、大きく変わったと思います。現在も、経営者として一番大切である“心構えや覚悟”を同友会から学んでいます。経営に関して、真剣に考え、熱く議論を交わす同友会に参加しているからだと思っています。他人から学ぼうとする素直の心と、お互いに経営について深く考え、切磋琢磨し、共に成長する環境に身を置くことの重要性を学びました。

今後も社長の学び場である同友会で勉強し実業に活かして結果を出して行きます。

一緒に学んで、 一緒に成長しよう



滋賀第一法律事務所
弁護士 近藤 公人 氏
(大津支部所属)

事務所経営に悩んでいるときに、「経営指針を創る会は勉強になった」という弁護士の記事を見て、すぐに私は入会しました。1年目は、毎月例会に参加し、2年目に「創る会」に参加しました。

士業ですので、毎月の支部例会告(企業家の報告)は、直接事務所経営の課題に結びつきませんが、毎回勉強になりました。製造業・建設業・サービス業等の経営者は、士業の私よりもっと参考になると思います。「創る会」では、先輩方が自らの会社のように真剣に質問してくれ、多くの「気づき」があり、学ぶことができました。起業後3割の企業が10年後に廃業しているというデータがありますが、同友会会員のその割合は低いという話を聞いています。会員が、例会・創る会で、経営を必死に学び、それを実践しているのであれば、企業が成長するので、当たり前だと思いました。

同友会は、単なる異業種交流会ではなく、学びたい人の集まりであり、相談できる関係を築ける団体であり、経営を学びたい人には最適の団体です。皆さんも入会し、私達と一緒に勉強、会社を成長させ、滋賀の地域を活性化させましょう。



① 人材採用で苦労している

人が育つ・人を集める

「中途採用の募集をしても人が集まらない」「社員が定着せず、辞めてしまう」「必要なスキルや経験を持った人がいなくなった」…「人」の問題が、今の経営者の悩みの種になっています。2017年秋の同友会のアンケート調査でも、7割の企業が人手不足を感じています。その中でも、さらに7割の企業が単なるラインスタッフではなく、技術職など高いスキルや経験を持った人材が足りていないと訴えています。これは、たまたまではなく、労働力人口の急激な減少、団塊世代の高齢化による退職などが構造的な要因と考えられますので、今後も一層深刻になっていくと覚悟しなければなりません。これまで同様のハローワークや広告での中途採用だけでは、経営は成り立っていきません。またもし御社が社員の離職で困っているなら問題はさらに深刻です。これからは「人を集めることのできる会社」「人が育つ環境を作れる会社」だけが生き残っていけるのではないのでしょうか？

社長のお悩み
こちらで
解決！



社長の学び場

検索

<http://www.shiga.doyu.jp/manabiba/>

③ 専門的な話を聞いて相談したい

専門分野のご相談もお任せ

実は中小企業家同友会の会員の中には、税理士、弁護士、社会保険労務士、司法書士、大学教授と言いたいわけゆる士業・研究者の方が多数おられます。しかも、本気で中小企業をサポートしたいと思うところざしの高い方ばかりですから、安心して相談できます。「こんな幼稚なことを聞いては…」「まったく何もわからないのですが…」と言った心配は無用です。もちろん、もっと突っ込んだ相談をしたい場合、サポートを受けたい場合は、顧問契約が必要ですが、とりあえずは同友会の仲間として気軽に相談してみたいはいかがでしょうか？さらに中小企業家同友会は県下最大の異業種交流の場でもあります。製造業、建設業、小売業、サービス業、農業…と多様な業種の経営者が集まっていますので、他業種の情報を知る、相談してみるには最適の組織だと言えます。もちろん貴社の経験も同友会にとって貴重な「辞書の1ページ」です。より良い情報を得るためには、自分からもどんどん発信していくことも大切です。

② 経営者になって日が浅く、もっと経営を学びたい

経営を学び強い会社作り

経営の勉強と言っても、何から手を付けていいのかわかりませんね。「『数字』に強くなりたい」と経理関係の本を買ってきても、数ページ読んでいやになったりしていませんか？ また「就業規則」「36協定」「マネジメント」…どれもこれも難しそうで敷居が高く感じます。そうこうしている内に、日々の現場では問題やトラブルが相次ぎ、その対処に忙殺されている間に時間だけがどんどん過ぎていく…。中小企業家同友会での「学び」は、何よりも実践的なことが特徴です。中小企業家同友会は、あなたと全く同じことで悩み、解決してきた多くの中小企業経営者が会員です。支部例会などで近隣のまじめな経営者の方と、気軽に交流してみませんか？自分の悩みや、知りたいことを発信すれば必ず、解決の道が見えて来るでしょう。

④ 後継者を育てたい

事業承継と育成

事業の承継は多くの中小企業にとって大きな問題です。事業承継と言うと、税務の事やM&A(事業譲渡)の話が多いようですが、本当に必要なことは実は「顧客や社員の信頼の承継」「理念や社風の承継」「承継した後の前社長の生き甲斐」などではないでしょうか？そして、そのための最大の課題は、やはり「後継者の育成」でしょう。中小企業家同友会の多くの企業も、すでに事業承継を経験したり、現在真っ最中と言う会社が少なくありません。その中では親族承継、社員による承継、第三者承継と形も豊富です。事業承継を真剣に考えておられるなら、中小企業家同友会は絶好の「学びの場」と言えるでしょう。しかし、自社の事業の目的を単に「食べていくため」としか考えていなければ、後継者は自分のやり方、自分の道で「食べていく」ことを考えるのではないのでしょうか？円滑で前向きな事業承継のためには、まず自社の「存在価値」(地域や世の中で必要とされる役割)を示すことが大切だと同友会は考えています。